



厚生労働省

# 国立障害者リハビリテーションセンター

National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

## センターの役割 — 我が国の障害者リハビリテーションの中核機関 —

国立障害者リハビリテーションセンターは、障害者リハビリテーションの中核機関として、障害者の自立及び社会参加を支援し、障害者の生活機能全体の維持・回復のため、先進的・総合的な保健・医療・福祉サービスを提供しています。

- 総合的リハビリテーション医療の提供
- リハビリテーション技術・福祉機器の研究開発
- リハビリテーション専門職の育成と能力向上
- 障害者の自立訓練及び就労移行支援の実施
- 障害者の健康増進及び運動医科学支援
- リハビリテーションに関する国際協力

## ◆ 主な仕事の内容 ◆

### 管理部

人事・給与・福利厚生・出張に関する総務事務や、契約・支出・債権管理・国有財産管理などの会計事務を通してセンターの運営を支えています。

### 企画・情報部

高次脳機能障害、発達障害をはじめとする障害や支援機器に関する情報の収集・分析・発信をしています。また、WHO（世界保健機関）指定研究機関としての役割を果たすとともに、JICA（国際協力機構）事業による海外研修員の受け入れや職員の派遣を行っています。

### 自立支援局

自立支援局の庶務・予算に関すること全般や、利用者宿舍の運営、障害福祉サービス利用料の算定事務を行っています。

事務職は約70名で、ここで紹介したほかにも病院・研究所・学院など各部門で働いています。

## ◆ 先輩からのメッセージ ◆

私は現在、研究所で採用事務や勤怠管理等の庶務を主に担当しております。行政の基本的なルールをしっかりと学び研究者の方々がスムーズに研究を行えるように日々取り組んでいます。

研究所には多くの研究者の方が在籍しており、研究者の方の発表や障害当事者の方との交流会を通じて障害福祉政策の現場を知り自分たちの仕事に社会に貢献しているとの実感が得られる職場です。また、センター内の自立支援局の福祉職の方や、病院の医療職の方と関わる機会もあり、行政事務以外の様々な職種の方と連携して仕事の出来るよい職場です。

ご興味のある方は業務説明会に足を運んだり、研究所が行っている研究成果の発表等を覗いてみてください。

（令和5年度採用・一般職試験（大卒程度）行政区分）



## ◆ 採用後について ◆

採用後は、通常2～3年ごとに異動し、幅広い業務を経験しながらキャリアアップをしていきます。

勤務地は埼玉県所沢市です。本人の希望や適性を考慮して、以下の施設間で転勤の可能性があります。

- ・函館視力障害センター
- ・神戸視力障害センター
- ・福岡視力障害センター
- ・別府重度障害者センター

また、施設間の異動だけでなく、関東信越厚生局をはじめとする全国の厚生局への異動や、厚生労働本省の主に福祉部局への異動もあり、全国的な視野に立った仕事もあります。

## 問い合わせ先

〒359-8555  
埼玉県所沢市並木4丁目1番地  
国立障害者リハビリテーションセンター  
管理部総務課人事係  
TEL:04-2995-3100  
FAX:04-2995-3102  
<http://www.rehab.go.jp/>